

処方箋医薬品^{注1)}

日本薬局方 生理食塩液

生理食塩液「ヒカリ」

貯 法：室温保存

使用期限：外箱、容器に表示の使用期限内に使用すること。

注 意：取扱い上の注意の項参照

注1)注意－医師等の処方箋により使用すること

生理食塩液「ヒカリ」	承認番号	薬価収載	販売開始
50mL瓶P ^{注2)}	16000AMZ05583	1994年7月	2003年4月
100mL瓶P ^{注2)}		1990年7月	1990年10月
500mL瓶P ^{注2)} 広口開 ^{注2)}		薬価基準収載	2005年4月
500mL瓶P ^{注2)} 細口開 ^{注2)}		薬価基準収載	2005年4月
再評価結果	1977年10月		

注2) 瓶P：プラスチックボトル 開：開栓型

【組成・性状】

※1. 組 成

本剤は1本中に下記の成分を含有する。

成分	容量	50mL	100mL	500mL
塩化ナトリウム		0.45g	0.9g	4.5g

電解質濃度 (mEq/L)

Na ⁺	Cl ⁻
154	154

※2. 製剤の性状

本剤は無色澄明の液で、弱い塩味がある。

pH：4.5～8.0

【効能・効果】

1. 細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時
2. 注射剤の溶解希釈剤
3. 皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進
4. 医療用器具の洗浄

【用法・用量】

注 射：通常20～1000mLを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。

外 用：皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
含そう、噴霧吸入に用いる。

その他：医療用器具の洗浄に用いる。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 心臓、循環器系機能障害のある患者
[循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。]
- 2) 腎障害のある患者
[水分、塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与：大量を急速投与すると血清電解質異常、うっ血性心不全、浮腫、アシドーシスを起こすことがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

1) 調製時

注射剤の溶解・希釈液として使用する場合は、生理食塩液が適切であることを確認すること。

2) 投与前

- ① 投与に際しては、感染に対する配慮をすること(患者の皮膚や器具の消毒)。
- ② 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- ③ 開封後は直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

3) 投与時

- ※① ゆっくり静脈内に投与すること。
- ② 皮下注射する場合には、神経走行部位をさけるよう注意すること。
 - ③ 繰り返し皮下注射する場合には、注射部位を左右交互に変更するなど配慮すること。なお、乳・幼・小児には連用しないことが望ましい。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム(Sodium Chloride)

分子式：NaCl

分子量：58.44

性 状：・無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。
・水に溶けやすく、エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

※【取扱い上の注意】

1. 輸液セットの瓶針又は混注の際の注射針は、ゴム栓の刺針部(凹部)に垂直に刺すこと。斜めに刺すと排出口側壁を刺通し、液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
2. 内容液に着色又は混濁等の異常が認められる場合は、使用しないこと。
3. 容器の目盛りはおよその目安として使用すること。
4. 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること(U字管連結はしないこと)。
5. 通気針は不要である(混注量により通気針が必要な場合があり、また、輸液の液量が少なくなると排出速度が低下してくるので、設定の投与速度を維持して使用するには通気針を用いること)。
6. プルオフキャップ及び細口開栓型キャップの取り外し方は、裏面を参照すること。

【包 装】

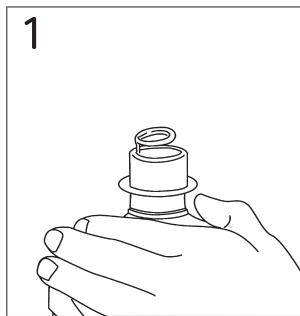
- 50mL×10本(プラスチックボトル)
- 100mL×10本(プラスチックボトル)
- 500mL×20本(プラスチックボトル広口開栓型)
- 500mL×20本(プラスチックボトル細口開栓型)
- (プラスチックボトルはポリプロピレン製容器である。)

※※【文献請求先】

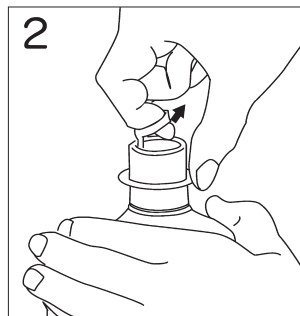
共和クリティケア株式会社 学術情報課
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8
TEL 0120-265-321
FAX 03-5840-5145

プルオフキャップの取り外し方

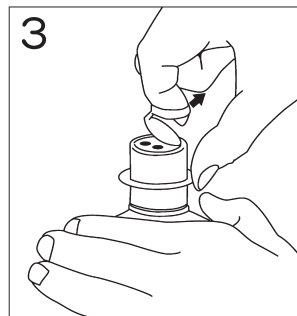
① 点滴型：50mL、100mL(プラスチックボトル)



プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持します。

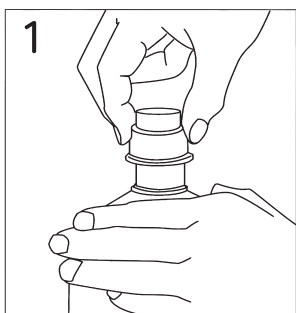


プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかけます。

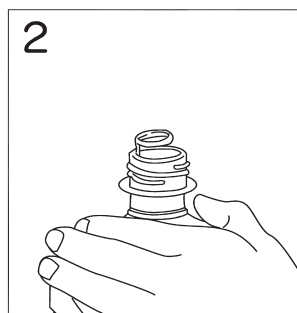


親指でささえ、手前方向へ約45度にゆっくり引くと取り外せます。

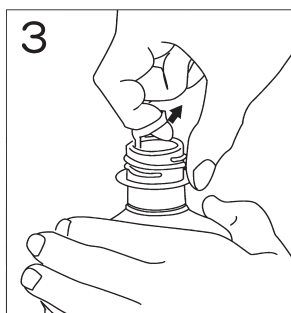
② 広口開栓型：500mL(プラスチックボトル)



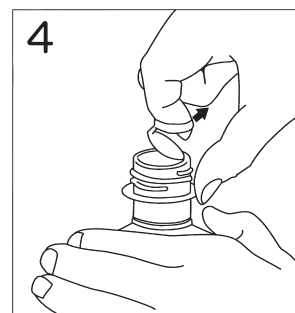
オーバーキャップを回し、開けます。



プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持します。



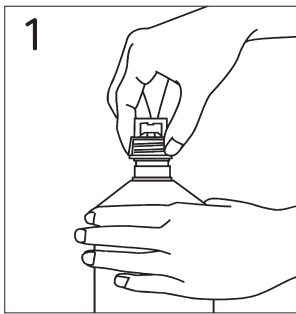
プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかけます。



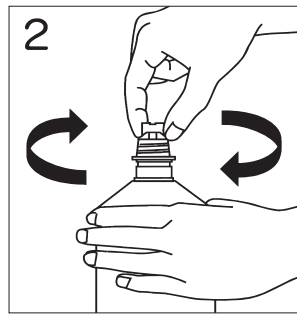
親指でささえ、手前方向へ約45度にゆっくり引くと取り外せます。

細口開栓型キャップの取り外し方

500mL(プラスチックボトル)



オーバーキャップを回し、開けます。



つまみ部分をねじると、切り離せます。

販売
※※ 共和クリティケア株式会社
神奈川県厚木市旭町四丁目18番29号

製造販売元
 光製薬株式会社
東京都台東区今戸2丁目11番15号